

生活困窮者自立支援制度とフードバンク利用について

NPO法人POPOLO

1. 静岡県におけるフードバンク支援状況

自治体	利用件数（1回で約2週間分の食料を支給） （フードバンクふじのくにH30年度実績より）		新規相談件数 （厚生労働省のH30年度統計および自治体からの情報提供を元に作成）	
	実数	10万人あたり	実数	10万人1月あたり
富士市	487	192.5	469	15.4
島田市	402	418.8	107	8.6
静岡市	437	63.2	1,275	15.0
A市	145	18.1	1,145	11.8
B市	45	39.1	69	5.0
C市	45	26.5	270	13.2
静岡県全体	2,515	67.0	6,164	13.7
（参考）狛江市	341	415.8	207	14.1
（参考）盛岡市	336	117.0	354	10.3

※狛江市は1回1週間分の数値だったため、682件の2分の1を数値として計上

2. 生活困窮者自立支援制度について

各自治体に生活困窮者が相談に行く窓口を開設し、相談を受け付けている。相談者が相談に来るのを待って、そこから支援が始まる形が一般的である。

3. 支援が届かない人の例

- ・そもそも制度があることを知らず、必要な情報にアクセスできない
- ・支援を求めることに心理的ハードルが存在している。

「自分より困っている人がいくところ」であるという認識がある。

自分の困りごとを他人に相談し、支援を受ける事に抵抗を感じている。

過去の行政の対応に不信感を感じている。

困りごとが多すぎて、整理ができていない。

4. 相談の掘り起こしの必要性

支援が届かない人に対し、早期に包括的な支援を提供するには、いわゆるアウトリーチが必要。アウトリーチ及び、相談者との信頼関係を構築する方法としてフードバンク支援は有効である。

5. フードバンクの支援件数にバラつきがある

・静岡県では、フードバンク倉庫が静岡市しかないため、輸送費の関係で、静岡市近郊の自治体の利用がどうしても多くなる。仮に同様のケースにおいても、静岡市より近い市と遠い市では食料支援ができたり、できなかったりしてしまう（支援の地域間格差）。

6. フードバンク支援をさらに拡充させることによる食品ロス問題への影響

・フードバンクふじのくにの平成30年度実績によると、個別支援件数は2,515件、提供重量は40.7tとなっている。

仮に静岡県の自治体のフードバンク利用件数を富士市・島田市並の実績値まで増加させることができた場合、年間支援件数9,637件、提供重量156.0tまで実績が増加する。

（富士市・島田市の実績件数を10万人単位でならし、静岡県の人口を乗した数値）

7. 実績を増加させるための事例（島田市）

・事業チラシ



あなたの子育て応援します
しまだ 夏休み
子ども食糧支援事業

私たちが住んでいる島田市でも、給食以外の食糧が満足に取れない、という子どもたちがいます。「しまだ夏休み子ども食糧支援事業」では、子どもが生まれた環境に左右されずに、将来に希望が持てるよう、子ども支援に関わる行政や団体と連携のもと、夏休みの給食が無い期間に子どもたちへ食糧を提供し、十分な食を基盤とした「子どもセーフティネット」の構築を目指しています。

子ども応援プロジェクト
内閣府 子どもの未来応援基金

期間 2017年 **7月～8月**

主催 NPO法人POPOLO
共催 島田市
島田市教育委員会
島田市社会福祉協議会



子ども応援プロジェクト

しまだ夏休み子ども食糧支援事業



POPLO

ひとりじゃないよ。
食を通じて子どもの未来を応援します。

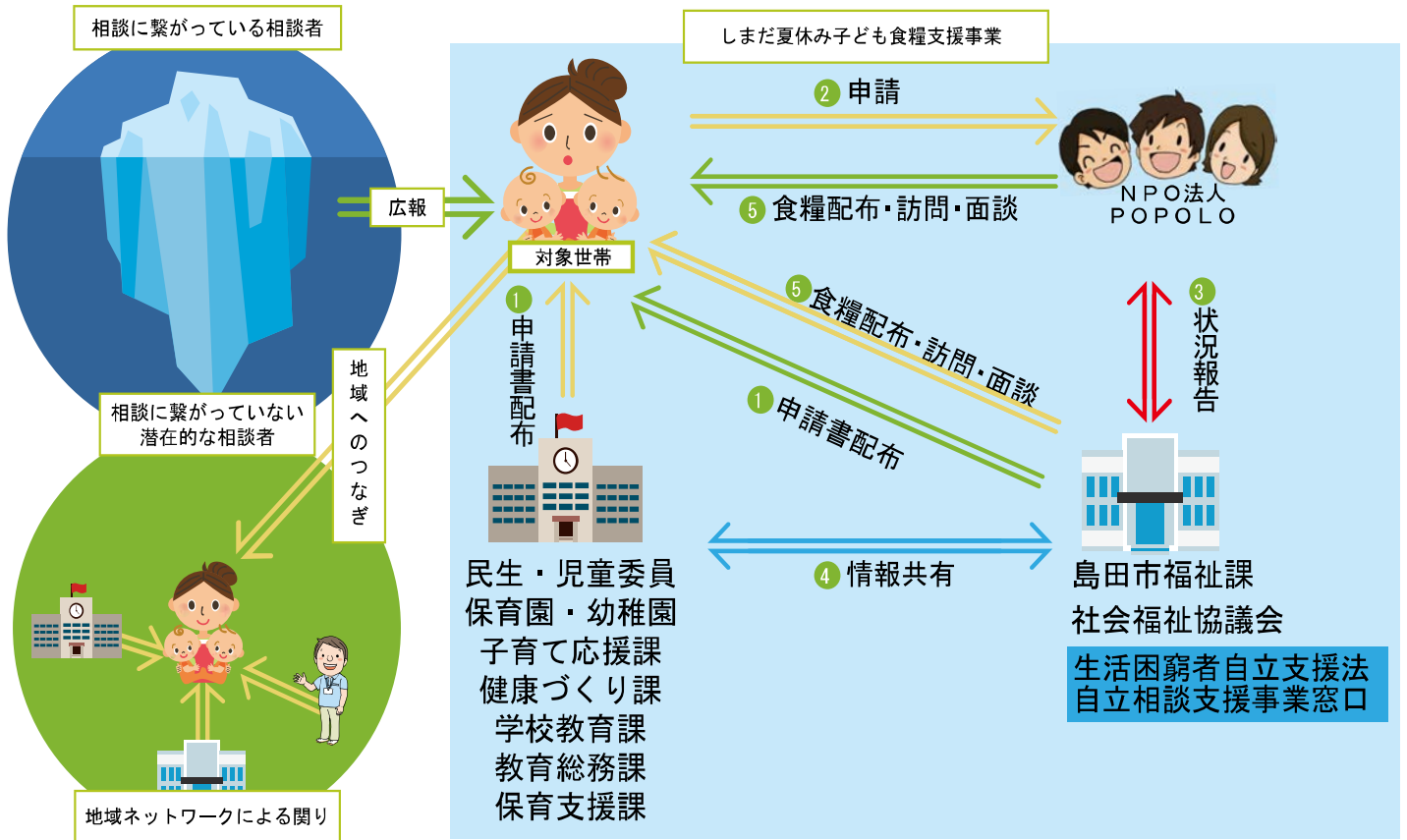
- **食糧提供**
子どもの食生活を支えます。
- **悩み相談**
各機関が相談に対応します。

etc

問い合わせ先

NPO法人POPOLO	☎	054-254-5718
静岡市葵区宮ヶ崎町5-3番地		
島田市福祉課	☎	0547-36-7158
島田市中央町1-1		
島田市社会福祉協議会	☎	0547-35-6244
島田市犬津通2-1		

・事業の仕組み



・実績表、お礼のはがき

実施年度	2017年度	2018年度	2019年度
申請数	74	138	150
提供数	71	131	137
支援人数	273	566	578
子どもの人数	152	316	238
提供重量 (kg)	1,154	1,107	1,021
掘り起こしに つながった件数	24	38	16

今回初めて食品をいただく
手続きをさせていただきました。
今までも、もらう事ができるのは知っていた
のですが... 和がもらっても良いのかなと
と、文句を言っていました。
今回、思い切って手続きをしました。
たくさん食品をいただけて本当に
感謝の気持ちでいっぱいです。
ありがとうございます。
食べ残りの息子に、思い切り、
ごはん作ってあげようと思います。